

調べてみよに！

三重の方言



みなさんは、三重の方言と聞いてどんな言葉を思い浮かべますか？「つる」「ほる」「～やん」…色々ありますよね。日常の中で何気なく使っている言葉だからこそ、「方言だった」と知り驚いた経験もあるのではないでしょうか。今回は、そんな三重県の方言に関する資料を紹介します。

三重の方言を調べる

*貸出が×となっていても、市内のほかの図書館には貸出可の資料がある場合もあります。

資料名	著者・出版社	発行年	分類番号	貸出
地図で読み解く関西のことば	岸江信介/編、昭和堂	2022	L/810//22	○
方言ずかん	篠崎晃一/監修、ほるぷ出版	2021	L/800//21	○
三重弁やん	神田卓朗/著、風媒社	2018	L/810//18	○
三重の法則	三重の法則研究委員会/編、泰文堂	2015	L/290//15	○
三重あるある	金木有香/著、TOブックス	2014	L/290//14	○
都市と周縁のことば	岸江信介/編著、和泉書院	2013	L/810//13	○
三重県史 別編 民俗	三重県/編集・発行	2012	L/201//	○
Simple 2012年10月号	ゼロ/編集・発行	2012	L/810//12	×
みんなが知りたい！「いろんな方言」がわかる本	ペンハウス/著、メイツ出版	2006	L/800//06	○
NHK21世紀に残したいふるさと日本のことば 4	NHK放送文化研究所/監修、学研	2005	L/810//06	○
三重県のことば	丹羽一弥/編集	2000	L/810//00	○
三重県方言民俗語集覧 1~6	江畠 哲夫/[著]	1995	L/810//	×
講座方言学 1、7	飯豊毅一/ほか編、国書刊行会	1986	L/800//	○
三重県方言 No.1-33	三重県方言学会	1955-	L/810//	×
ふるさといなべ市の紹介	ふるさといなべ市の語り部の会/編集、いなべ市観光協会	2019	L/292//19	×
三重県尾鷲方言のアクセント研究	平田秀/著、ひつじ書房	2020	L/870//20	○

* 地域資料室には、県内各地の市史や町史があります。
方言が収録されている資料もありますので、ぜひご覧ください。

四日市の方言を調べる

資料名	著者・出版社	発行年	分類番号	貸出
ふるさと富田	富田地区社会福祉協議会	2024	L/223/富田/24	○
わが郷土 うつべ	内部地区四日市市合併70周年記念誌編集委員会/制作・編集	2013	L/223/内部/13	○
鈴鹿郡における天候等に関する昔の呼び方と伝承・諺	鈴鹿の国方言研究会	2011	L/451//11	×
鈴鹿郡における昆虫等の昔の呼び名 1		2010	L/482//10	×
古くからの日永の人々のくらし	日永郷土史研究会	2006	L/223/日永/06	○
三重県三重郡誌（復刻版）	三重県三重郡教育会/編	2002	L/290//02	×
ふるさとあがた 2	県地区郷土史編纂委員会	2001	L/223/県/01	○
川島町のむかし	桂山孝夫/編著、四日市郷土史研究会	1975	L/223/川島/75	○



「四日市かるた」(四日市観光協会) *地域資料室内で見ることができます

四日市のみどころや名物などを楽しみながら知ることのできる「四日市かるた」。
「つる」「とごる」など四日市の方言も登場しています！



裏も
あるに！

「調べてみよに！ 三重の方言」

 地域資料室以外で調べる

※ 児童=児童室、成人=成人室、参考=参考図書コーナー

資料名	著者・出版社	発行年	場所・分類番号
写真で読み解く都道府県別方言大辞典	大西拓一郎/監修、あかね書房	2025	児童 818/25 ○
それいけ!方言探偵団	篠崎晃一/著、平凡社	2021	成人 818/22 ○
県別方言感覚表現辞典、県別方言感情表現辞典、地方別方言語源辞典	真田信治/編、東京堂出版、[2018]		参考 R/818.0/ ×
都道府県別全国方言辞典	佐藤亮一/編、三省堂	2009	参考 R/818.0/09 ×



『方言漢字事典』(笹原宏之/編著、研究社、2023) [R/811.2//24]

※1階参考図書コーナーにあります。

特定の地域でしか用いられないなど地域性のある漢字「方言漢字」を知っていますか？この資料では、「方言漢字」の使用分布、使用例などが紹介されており、この地域で使われている「泗」も登場しています。

図書館の職員に聞きました！

あなたの三重弁と方言エピソードを教えて！



県外の人を驚かせた、通じなかった方言



かんぴんたん

=道で潰れて干枯びているカエル、乾燥している

例:かんぴんたんのカエル見たわ

とごる

=沈殿する、溶け切らず底に残っている

例:ココアとごるとあかんでもちゃんとまぜなよ

独特な発音も方言！

つう=津

後に小さい「う」をつける

まっさか=松阪

「まつつか」とも言う

ぎなぎな

=ゆっくりと、だらだら、ますます、どうにか

例:痛いのぎなぎな続いているわ

鈴鹿出身の友人との会話でこのワードが出て衝撃でした。会話を中断し、要説明タイムに入りました。(県外出身者)

ちっさ=小さい
あつか=赤い

強調や驚きを表す時、小さい「つ」を付け、後の「い」は省略しがち

あなたは使う？ ザ・三重弁？

「yan」語族と言われたことがあります。

～やん、～やに

=じゃないか、だよ

例:遅いやん、図書館やに

～やんやん

=～ないよ、ないじゃないか

例:できやんやん、来やんやん

あばばい

=まぶしい

例:あばばいで電気消して

伊勢の友人に言われて「？」となりました。

つむ・つんどうる

=混んでいる

例:電車つんどうるなあ

ささって

=3日後・明々後日

例:ささっては遠足やに

他にも、「ちみぎる」「いがむ」「はしかし」「かする」「おいでる」「けなるい」「おっしゃくい」など色々な方言が出されました。紹介しきれなかった方言は、地域資料室で紹介しています。

けった
こぐ

子どもの頃、ささって→しあさって→ごあさって→ろくあさってと続くと思っていました。

